

の口や薬櫃の口に此護謨管を着けて牛乳ソップ等を飲ませますと大變便利であります、其他いろいろの用法がありますが、これを使用すると同時に別に看護の技を要するやうなことは素人が行つては却て危険ですから、爰には只是等の物をも用意して置いていざと云ふとき醫師の命を敏速に達し得る様になさいと云ふに止めて置きます。

學齡兒童と父兄

弘田醫學博士談

▲特に學齡兒童に注意 一概に兒童と言つても其の範圍は頗る廣いが特に學齡兒童に對して注意すべきは父兄が學校以外の日課を課する事である、言ふまでもなく現今の學制は普通の兒童に適するやうにしてあるのであるが然し多數の中には餘りに輕る過ぎる者もあれば又重過ぎる者もある、例へば二碗の食で腹一杯になる兒童もあれば四碗の食も尚且腹を満だすに足らぬ兒童もあると同じで

ある
▲原因は父兄に在り 斯くの如く同じ兒童の中でも力は銘々相等しく無いのである、けれども學校では所謂個人教育を行ふ事が出来ないから止むを得ず其中間を取つて平均三碗の食を與へて居るのである、故に或る一部の兒童は既に其量の餘りに多過ぎるのに困つて居る、然るに親はそんな事には一向氣が付かないで無暗に焦慮て果ては家庭教師まで雇つて兒童に勉強を強る又女兒であれば學校の日課以外に家に歸ると音楽だとか茶の湯だとか活花だとか云ふ遊藝を教へるので遂には神經衰弱を起して其結果發育不良に陥り折角延びかゝつた芽を萎縮さしてしまふやうになるのである、是は全く兒童の罪ではなくて父兄が悪いのである、
▲大器は晩成を期せ 幼稚な兒童に過重な負擔を強いる事の不可な理由は前申した通りであるが是は畢竟父兄が他の兒童に後れさせまいと焦慮の結果に外ならないのである、けれども幼少時代の俊秀が必ずしも成長後豪くなるに極つては居ない、獨要するに少年時代は何うでも十分成長をして、獨

立して社會に活動するやうになつてから豪くなれば可いのであるから幼少時代には唯その英氣を養つて置けばよいのである、

▲運動時間の不足 一體今の兒童には身體を練る時間が乏しい、早い話しが朝起きて食事をする直ぐ學校に行かねばならぬ又午後は二時乃至三時に歸つて少し休つて又日課の復習をせねばならぬ左右する中には日が暮つて了ふと云ふ風で殆ど運動する時間が無い、よく年寄りが今の子供は弱くて不可んと云ふが昔の人は果して頑丈であつたか否かは別として、身體を練る時間が有つた事は事實である、その一例を擧ると柔道をやるとか擊劍をやるとか或は又弓術、馬術などの稽古をやつて居たから自然身體が練られた、然るに今の兒童にはさう云ふ機會がないから何しても身體の運動に不足を感ずるのである、

▲修養と休養 修養とは常に相離る可からざるものであるが一體日常起居は何うしたら可いかと云ふに必ずしも朝は何時に起きて夜は何時に寝ると云ふやうに規律的でなくても可い、唯そ

の睡眠の時間丈は凡極めて置いた方が可い例へば前の晩は床に入るのが少し後れたと思へば翌朝は夫れに準じて少し長く寝かすと云ふやうにするのである、是は唯休養の一例に過ぎないが總ての事も之に準じて行けば可いのである。

保育叢話

光藤夫人

一、庭園の必要

子供に取つて何が一等大切かと申しますれば、恐らく身軀の強健といふ事に異存のある人はあるまいかと存じます。其の必須なる身體の強健は如何にすれば得らるゝかと申しますれば、其の條目は色々御座いますが、毎日室の中で遊ばせないで、外氣にふれさせるといふ事も一つの大切な事かと存じます。獨逸あたりでは朝から晩まで、外で遊ばせるといふ事で御座いますが、誠に結構な事に羨しく思ひます、私共も田舎で育てられました